

学校教育目標 未来に向かって力強く生きる ひとみ輝く 和土っ子の育成

～ やさしい子:やさしいっばい かしこい子:かっぱい たくましい子:やる気っばい ～



# 和土小だより

〒339-0033 さいたま市岩槻区黒谷1353番地 TEL048-798-0208 / FAX048-798-8730

学校Webページ: <https://wado-e.saitama-city.ed.jp/> Eメール: [wado-e@saitama-city.ed.jp](mailto:wado-e@saitama-city.ed.jp)

さいたま市立和土小学校

令和7年1月7日(火)

1月号 発行者 池田 誠

児童数 150名

## 「今日の一日を精一杯つとめ励む」を大切に

校長 池田 誠

明けましておめでとうございます。

本年も皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。

東の空から昇る初日の出を見ながら、和土っ子の健やかな成長の一年、健康で心穏やかな一年を願い、令和7年が始まりました。

今年は、巳年です。この「巳年」の「巳」という漢字の由来を調べてみると、胎児の形に由来しており、「未来の種を育む」という意味があるそうです。また、「新しく生まれてくる」、「将来・未来がある」といった意味合いもあるそうです。そして、「巳」=「蛇」は昔から豊作や金運を司る神様として祀られていました。たくましい生命力と、脱皮のたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、再生のシンボルともされてきたようです。

能登半島は、昨年1月の「能登半島地震」と昨年9月の「奥能登豪雨」の被災地となりました。復興に向け、日々ご苦労されている方々の言葉を伺うと、胸が痛みます。本校では、能登で被災された皆様や復興に携わる皆様への応援の気持ちを忘れないようにと、今月20日(月)に「石川県の献立」給食を提供する予定です。「再生」の意味合いをもつ「巳」年に、能登の皆様の安心安全が戻り、被災地の一層の復興が進むことを、和土っ子と一緒に願っていかうと思っています。

昨年末、「一日暮らし」という言葉に出会いました。この言葉を書き残した方は、道鏡慧端(どうきょうえたん) 禅師(1642~1721)と言う禅僧です。正受(しょうじゅ) 老人としても知られ、世間から離れて長野県飯山市にある正受庵で、一人禅の修行と向き合われていました。修行を通して説かれた言葉です。一部を紹介いたします。

「人生の中で一番大事なことは、今日、ただ今の自分の心なのだ。明日やればよいと言っても、その明日があるかどうかはわからない。人生は長いから、そのうちやればよいと思っていると、毎日をほだほだに過ごしてしまう。人の命は、はかないものだからこそ、今日の一日を精一杯つとめ励むべきだ。今日一日をしっかりとつとめ、明日もまたそのような一日が来るようにしなければならない。先のことを考えてみるのは、誰でもやっていることだが、今ここにあるこの時をどう生きるか、どう暮らすかということを考えている人は少ない。」

明日があるから今日はこれでいいだろう、明日にやればよいだろうと、今日一日を何となく過ごし、あてもない先のことを頼みとして、緊張感をなくしてしまう。一番大切なことは「今日の一日を精一杯つとめ励むべき」と説いています。

サッカー元日本代表GKである川島 永嗣 選手は、以前、浦和東高等学校時代(在籍時全国高等学校サッカー選手権大会・国民体育大会サッカー競技大会・全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会の3大全国大会に出場した)を回想する中で、「高校生活は部活のサッカーが中心で、人一倍の練習をこなし、全国大会で成果を残すことを考えていた。しかし、サッカー部だから勉強しなくていいと特別扱いされるのが凄く嫌で、勉強を疎かにしたくなかった。家庭学習や試験勉強に費やす時間もサッカーの練習時間に充てるためには、どこで勉強するかと考えたら授業中しかなかった。当時の監督から『いつ勉強するんだ』と尋ねられると『授業中に全部マスターしますから』と返した。」と語っていました。

正に、「今日の一日を精一杯つとめ励む」「今ここにあるこの時をどう生きるか」を考えていたのではないのでしょうか。「一日暮らし」の言葉を心に留めて、この一年を過ごしていきたいと思ったところです。

さいたま市教育委員会では、長年にわたり、各学校において教育活動等にご尽力いただいている方に感謝の意を表すために、感謝状の贈呈を行っております。今年度、本校の教育活動に長年ご協力いただいた6名の方に贈呈されました。濱野 武雄 様、中村 善博 様、多ヶ谷 清之助 様、並木 昇 様、中村 恵一 様、多ヶ谷 孝治 様の皆様は、春と秋に実施している田植え体験、稲刈り体験の準備と指導に20年以上ご協力いただき、特色ある教育にご尽力いただきました。心より深く感謝申し上げます。

松の内が間もなく明け、平生の暮らしが戻ってまいります。保護者並びに地域の皆様、体調を崩しませんようくれぐれも気を付けてお過ごしください。



【初めて作った木目込み人形】